

2026年3月5日

各 位

碧海信用金庫

有限会社大台メンテナンスとの  
「ハキシンスステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、有限会社大台メンテナンス（代表取締役：大谷次男）と、「ハキシンスステナビリティ・リンク・ローン（以下：ハキシンスLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

## 記

## 1. 「ハキシンスLL」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO<sub>2</sub>排出量削減率に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

## 2. 契約締結先

会 社 名：有限会社大台メンテナンス

所 在 地：豊田市亀首町山川 35-2

代 表 者：大谷 次男

事業内容：各種設備清掃作業

管内調査・洗浄作業

産業廃棄物処理による再生油類の販売

産業廃棄物処理業務に関するコンサルティング

廃水処理設備の維持、メンテナンス

## 3. 契約内容

実 行 日：2026年2月27日

期 間：5年

融資金額：非公表

以 上

有限会社大台メンテナンス サステナビリティ・リンク・ローン概要

有限会社大台メンテナンス  
代表取締役 大谷次男

<https://www.oodaimaintenance.com>



【有限会社大台メンテナンスの概要】

- ・有限会社大台メンテナンス(以下:当社)は平成4年4月に創業、法人設立した産業廃棄物運搬業者。主に大手ゼネコンやトヨタ系製造業者の工場から排出される廃油を回収している。
- ・当社グループは保有する産業廃棄物運搬車両が多く、大口の受注にも対応可能。ISO14001 認証の取得や SDGs 宣言を公表するなど、環境対策にも取り組んでいる。

《令和4年9月1日制定環境方針》

大台メンテナンスグループにおける事業活動【各種設備等の清掃、産業廃棄物の収集運搬】を通して、環境影響を十分に理解し汚染の予防及び環境保護を図るとともに環境マネジメントを構築運用し、当グループの環境保全の活性化、質の向上につながる継続的改善に努めます。

- 1 当グループの環境側面に関係する法令及び当グループが同意するその他の要求事項を特定し、遵守します。
- 2 環境影響を十分に理解し、交通事故・環境災害0件を目指します。
- 3 ユーザーの環境負荷軽減に繋がる情報収集及び提案をします。
- 4 社内及び周辺地域の清掃を通して、地域社会との共生を図ります。
- 5 環境方針は、社内周知し、一般に広く開示します。

**≪ ISO14001 認証取得 ≫**

ISO14001(環境マネジメントシステム規格)を取得し、国際基準に照らされた環境リスクの低減および環境への貢献と、経営との両立を目指します。


**≪ SDGs 宣言 ≫**

当社は国連が提唱する『持続可能な開発目標 (SDGs)』に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



## 有限会社 大台メンテナンス SDGs宣言

当社は国連が提唱する『持続可能な開発目標 (SDGs)』に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月1日  
有限会社 大台メンテナンス  
代表取締役 大谷次男

---

**環境保全・資源循環**

お客様や地域の課題に対して柔軟なサポートができるパートナー企業として、  
事業活動を通じて環境保全・資源循環に貢献してまいります。

【主な取り組み】  
ISO14001 認証維持  
産業廃棄物リサイクルの提案  
産業廃棄物適正処理の提案  
新規環境事業の提案





---

**人権・雇用**

全従業員が働きがいのある健康的な職場づくりを実践していきます。

【主な取り組み】  
健康企業宣言  
健康診断の実施  
従業員教育 資格取得補助





---

**地域貢献**

事業活動・環境美化を通じ地域の活性化への貢献していきます。

【主な取り組み】  
行政との連携  
駐車場の維持管理  
清掃活動  
地域との共生






## 【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO<sub>2</sub>排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2025年2月28日（2024年度）を基準日とする対比により、2031年2月28日（2030年度）にCO<sub>2</sub>排出量の削減率16.2%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO<sub>2</sub>排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年2月28日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2025/2/28	基準日時点排出量（単位：t-CO <sub>2</sub> ）			369.15
基準日以降各年次	2027/2/28	2028/2/29	2029/2/28	2030/2/28	2031/2/28
基準日比削減率	3.2%	6.4%	9.6%	12.9%	16.2%

## 【SPTsの野心性】

- ・当社はScope1、Scope2削減において、2030年度までの国内目標を上回る水準のCO<sub>2</sub>排出量の削減計画を策定している。
- ・今回、トラックを2台増台する中でCO<sub>2</sub>排出量を削減させる目標を立てており、野心性あるものと判断できる。

## 【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、トラックを省エネ性能のよいものに変えていく。また、エコドライブを心掛ける。
- ・Scope2については、CO<sub>2</sub>フリー電気の導入を検討していく。また、社員教育を通じて省エネを推進していく。
- ・Scope3についても、サプライヤーと連携してバリューチェーンでの環境負荷低減に貢献していく。

## 【SPTsの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、当社の計画はハキシんSLLのCO<sub>2</sub>排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以上